

国際シンポジウム

後期旧石器時代のシベリアと日本 - 最終氷期における人類の環境適応行動 -



■日程

シンポジウム	2010年11月27日(土)	14:00~17:30
	2010年11月28日(日)	9:00~17:15
レセプション	2010年11月27日(土)	18:30~20:30

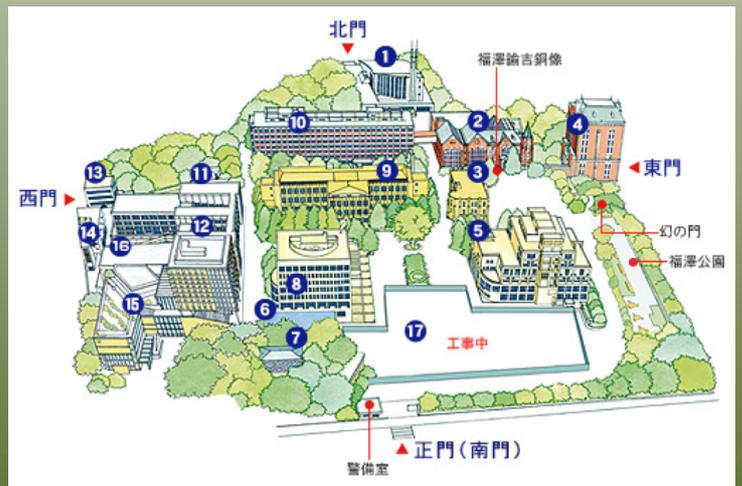
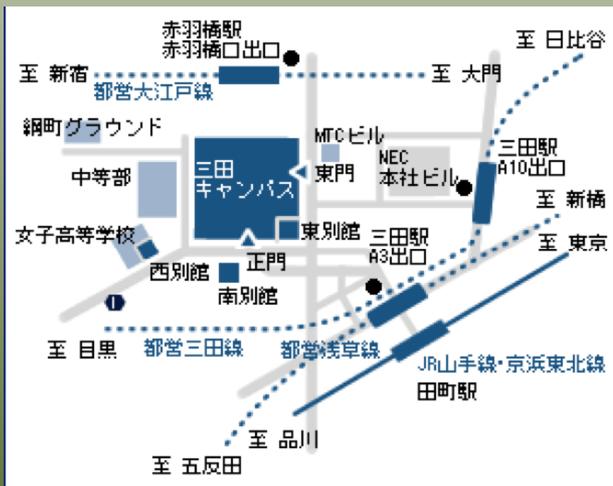
■場所 慶應義塾大学三田キャンパス東館8Fホール(右下地図④の建物)

■参加費 資料代 1,000円、レセプション参加費 4,000円

■申し込み・問い合わせ先

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学民族学考古学研究室
国際シンポジウム開催事務局(担当: 佐藤孝雄), E-mail: sato@flet.keio.ac.jp

参会を希望されます方は、郵便または電子メールで11月20日(土)までにお申し込みください。
なお、その際にはレセプションへのご出欠も明記していただきますようお願い申し上げます。



■シンポジウム開催補助金

文部科学省科学研究費補助金

基盤研究A 「ユーラシア北東部における後期旧石器時代人の適応行動に関する総合的研究」(研究代表者: 佐藤孝雄)
基盤研究B 「旧石器時代洞窟遺跡における人骨の探求とその生活跡の調査」(研究代表者: 阿部祥人)

慶應義塾大学小泉記念基金

ご挨拶

慶應義塾大学民族学考古学研究室に所属する阿部祥人、佐藤孝雄の両名は、目下、文部科学省科学研究費補助金の助成を受け、後期旧石器時代の人類集団とその活動に関して、相互に関連する研究プロジェクトを進めています。私達は、過去数年間、それぞれシベリアのバイカル地区、本州北端の下北半島で発掘調査も重ねるなか、後期更新世後半期(OIS3・2)における当該地域の環境と人類の活動に関して少なからぬ知見を得てきました。

そこで、この度、二つの研究プロジェクトに参画する研究者が一同に会し、それぞれの調査・研究成果を報告・確認し合うべく、来る11月27日・28日の両日、国際シンポジウムを開催することにいたしました。本シンポジウムでは、後期更新世における人類集団とその環境適応活動を多角的かつ領域横断的に議論するとともに、今後の旧石器文化研究について論点の整理も試みたいと考えております。ご関心をお持ちの向きにおかれましては、万障お繰り合わせの上、ご参会賜れば幸甚です。

慶應義塾大学文学部
阿部祥人・佐藤孝雄

■使用言語

ロシア語・英語・日本語

ロシア語による基調講演・研究発表については適宜、加藤博文氏(北海道大学)、濱川誠氏(モスクワ国立大学)による通訳が入る予定です。

■タイムテーブル

11月27日(土)

13:30 - 受付
14:00 - 14:15 主催者挨拶
14:15 - 15:45 基調講演
15:45 - 16:00 ティーブレイク
15:30 - 17:30 研究発表
18:30 - 20:00 レセプション

11月28日(日)

8:45 - 受付
9:00 - 10:15 研究発表
10:15 - 10:30 ティーブレイク
10:30 - 11:45 研究発表
11:45 - 13:00 ランチブレイク
13:00 - 15:30 研究発表
15:30 - 15:45 ティーブレイク
15:45 - 16:35 研究発表
16:35 - 17:15 総合討論とコメント

■発表者の国籍・氏名・所属

ロシア

German MEDVEDEV	イルクーツク国立大学 歴史学部
Fedora KHENZYKHENOVA	ロシア科学アカデミー シベリア支部 地質学研究所
Sergei KOGAI	イルクーツク国立大学 歴史学部
Ekaterina LIPNINA	イルクーツク国立大学 歴史学部
Dmitrii LOKHOV	イルクーツク国立大学 歴史学部
Ksenia MAKSIMENKO	イルクーツク国立大学 歴史学部

中国

王 晓琨 Xiaokun WANG 中国人民大学 歴史学院

日本

阿部 祥人	慶應義塾大学 文学部	澤田 純明	聖マリアンナ医科大学 医学部
石田 肇	琉球大学大学院 医学研究科	鈴木 建治	北海道大学 アイヌ・先住民研究センター
片桐 千亜紀	沖縄県立埋蔵文化財センター	土肥 直美	琉球大学大学院 医学研究科
加藤 博文	北海道大学 アイヌ・先住民研究センター	奈良 貴史	日本歯科大学 新潟生命歯学部
河村 善也	愛知教育大学 教育学部	増田 隆一	北海道大学大学院 理学研究院
國木田 大	東京大学 北海文化研究常呂実習施設	吉田 邦夫	東京大学 総合研究博物館
佐藤 孝雄	慶應義塾大学 文学部	米田 穰	東京大学大学院 新領域創成科学研究科
澤浦 亮平	慶應義塾大学大学院 文学研究科	渡辺 丈彦	文化庁 記念物課

プログラム

11月27日(土)

主催者挨拶 14:00

基調講演

- 14:15 - 15:00 シベリアの旧石器文化-研究の歴史・争点・将来-
15:00 - 15:45 日本列島における旧石器時代研究の特徴と課題

German Medvedev
阿部 祥人

Tea Break 15:45 - 16:00

研究発表

Session 1 旧石器遺跡群の調査

- 16:00 - 16:30 尻労安部洞窟遺跡の調査
16:30 - 17:00 金斯太洞窟遺跡の調査
17:00 - 17:30 バリショイ・ナリン遺跡の調査

奈良 貴史, 阿部 祥人
Xiaokun Wang
佐藤 孝雄, 鈴木 建治

Reception 18:30 - 20:30

11月28日(日)

研究発表

Session 2 シベリアおよび日本列島における更新世人類化石

- 9:00 - 9:25 アジアの更新世人類化石
9:25 - 9:50 マリタ遺跡出土骨資料の放射性炭素年代
9:50 - 10:15 白保竿根田原洞窟から出土した後期更新世人骨とその意義

石田 肇
吉田 邦夫, 國木田 大
米田 穰, 土肥 直美, 片桐 千亜紀

Tea Break 10:15 - 10:30

Session 3 極東地域における後期更新世の動物相

- 10:30 - 10:55 後期更新世における日本と中国の哺乳動物相
10:55 - 11:20 バイカル湖周辺域のマンモス動物群
11:20 - 11:45 北ユーラシアにおける哺乳動物群の系統地理的歴史

河村 善也
Fedora Khenzykhenova
増田 隆一

Lunch Break 11:45 - 13:00

Session 4 日本列島における旧石器人類集団の狩猟活動

- 13:00 - 13:25 微小骨片の組織形態学的分析と狩猟対象獣の復元
13:25 - 13:50 日本列島における旧石器時代の狩猟活動

澤田 純明
澤浦 亮平, 佐藤 孝雄

Session 5 シベリアと日本列島における後期旧石器時代の人工遺物

- 13:50 - 14:15 バリショイ・ナリン遺跡の石器群
14:15 - 14:40 北部アンガラ川流域カタ・ヨダルマ地域の新発見資料
14:40 - 15:05 シベリアにおける石刃石器群の出現過程
15:05 - 15:30 日本列島東北部における石刃石器群とその石材環境

Ksenia Maksimenko
Dmitrii Lokhov
加藤 博文
渡辺 文彦

Tea Break 15:30-15:45

Session 6 後期旧石器時代人の心性

- 15:45 - 16:10 ゲラシモフ遺跡から出土した石製品
16:10 - 16:35 マリタ遺跡の葬制・副葬品に読み解く更新世人類の心性

Sergei Kogai
Ekaterina Lipnina

総合討論及びコメント 16:35-17:15